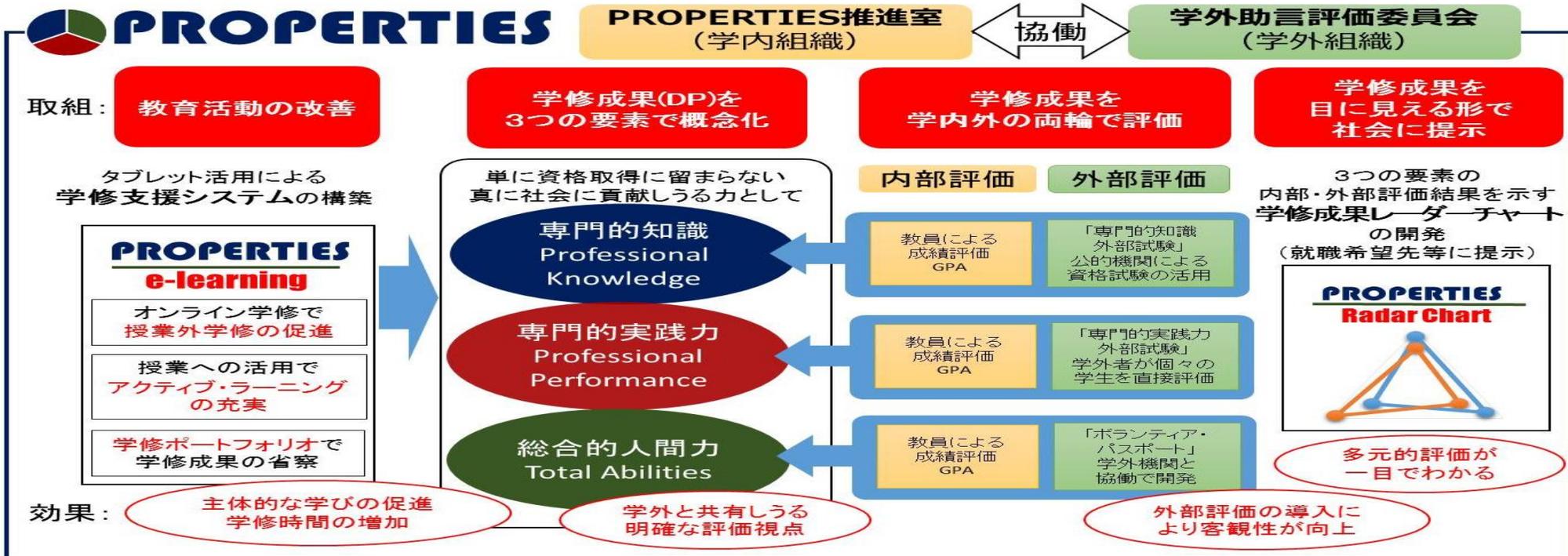


大学等名：山梨学院短期大学

テーマ：テーマV（卒業時における質保証の取組の強化）

【取組概要】 各科12におよぶディプロマ・ポリシー（学修成果）を3つの要素「専門的知識Professional Knowledge」「専門的実践力Professional Performance」「総合的人間力Total Abilities」でとらえ、「学修成果を学内・学外の両輪で評価する仕組み」、「学修成果を社会に目に見える形で提示していく仕組み」を開発・整備し、これらをかき、「学生の主体的な学びの促進や学修時間の増加等、教育活動の改善」を図る。この取組を、短期大学での学びが卒業生の「財産」となることを願ってPROPERTIESと呼び、これにより「卒業時における質保証」を強化する。

学修成果を学内・学外の両輪で評価し社会に目に見える形で提示していく仕組み



【事業の成果】	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	31年度 (目標値)
学生の授業外学修時間 (1週間当たり)	2時間	3時間	5時間	20時間
卒業生追跡調査の実施率 (調査回答者数/卒業者数)	0%	0%	8%	40%
学修成果レーダーチャート活用率 (活用学生数/2年次学生数)	0%	0%	0%	100%

【大学改革の加速】

「卒業時学修成果の学内評価と社会からの評価とのズレ」「学生の学修時間の不足」といった現在の課題に取り組むことで、本学がこれまで一貫して進めてきた『社会に貢献しうる』専門職養成の充実のための大学改革が加速する。

【大学全体への影響】

学修成果を学内・学外の両輪で評価する仕組み等の導入により教育活動が充実し、専門職として社会に貢献しうる力を学生が卒業時に確実に身につけることが可能となる。